



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL https://www.hokutake.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員オペレーション (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (取引先・金融機関向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	123,597	7.3	1,303	58.7	1,898	44.3	1,295	63.4
2019年3月期第2四半期	115,232	2.1	821	△21.4	1,315	△16.2	792	△19.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 776百万円 (△73.4%) 2019年3月期第2四半期 2,918百万円 (172.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	55.04	—
2019年3月期第2四半期	33.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	133,168	51,654	38.8	2,194.16
2019年3月期	125,064	51,101	40.9	2,170.74

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 51,648百万円 2019年3月期 51,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	9.50	17.00
2020年3月期	—	7.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	241,000	2.5	1,800	△26.8	2,800	△18.9	1,700	△19.0	72.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	24,400,000株	2019年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	860,996株	2019年3月期	860,725株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	23,539,137株	2019年3月期2Q	23,642,531株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、高めの成長の揺り戻しや消費税増税への懸念から短期的にはスロウダウンの可能性があるものの、個人消費における良好な所得環境等に支えられています。しかし、中国経済をはじめとした海外経済の動向と政策に関する不安定感や市場の変動など、経済の不透明感があります。

医療業界におきましては、2018年4月に実施された診療報酬改定に伴い厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの医療機器卸売事業では、消費税増税に伴う駆け込み需要の影響により売上が増加いたしました。さらに、7月にはECショップ「Bell&Orchid(ベル アンド オーキッド)」を会員制から会員以外の一般のお客様にもご利用いただけるようリニューアルオープンいたしました。介護事業では、昨年引き続き介護ロボットの普及推進を目的とした受託事業者に㈱マルベリーを代表とするコンソーシアムが北海道から選定されました。また、介護ロボット体験セミナーなどを開催し、多くの参加施設様に最新情報や商品情報の提供を行いました。

以上の状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,235億97百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は13億3百万円（同58.7%増）、経常利益は18億98百万円（同44.3%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億95百万円（同63.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

(医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、2018年4月の診療報酬改定ならびに薬価引き下げが実施されて以降、厳しい市場環境が続いております。このような状況の中、高齢化の進展を背景とした生活習慣病薬、抗がん剤などの分野での売上は好調となりました。また、商品カテゴリー別では、使用促進策により後発医薬品の売上が伸長した反面、長期取載品の売上が減少する傾向は依然続いておりますが、新薬の販売に積極的に取り組んだ結果、売上全体では前年を上回ることができました。利益面では売上増の影響に加えて、販売管理費の圧縮により増益となりました。

その結果、売上高は883億26百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は4億57百万円（同22.8%増）となりました。

(医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、画像診断機器をはじめ手術装置関連機器などの大型機器の買い替え需要等が順調に推移しました。また、新規の事業会社の加入や消費税増税前の需要増加も影響し、売上・利益ともに前年を上回る結果となりました。

その結果、売上高は309億97百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は5億61百万円（同73.2%増）となりました。

(薬局事業)

薬局事業におきましては、2018年4月に実施された調剤報酬改定への対応として加算要件を満たす取り組みや店舗全体の合理化により、売上高は微増いたしました。また、利益面では、人員の適正化による労務コストや販売管理費の削減効果により前年を大きく上回りました。

その結果、売上高は72億85百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は2億17百万円（同223.5%増）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、引き続き福祉用具レンタル・販売および住宅改修における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。また、サービス付き高齢者向け住宅部門におきましては、定期イベントの実施などにより入居者数は安定推移いたしました。さらに、不動産部門での仲介手数料が利益の底上げに寄与いたしました。

その結果、売上高は17億29百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は2億59百万円（同48.0%増）となりました。

（ICT事業）

ICT事業におきましては、グループ会社の情報システム開発案件、軽減税率に伴うソフトウェア改修、消費税増税によるハードウェアの買い替え需要に注力し、売上・利益共に昨年を上回る結果となりました。

その結果、売上高は10億33百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益は1億26百万円（同489.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,331億68百万円（前連結会計年度末1,250億64百万円）となり、81億3百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が70億15百万円および有形固定資産が21億78百万円増加した一方、商品及び製品が7億77百万円および投資有価証券が7億96百万円減少したことによるものです。負債は815億14百万円（前連結会計年度末739億63百万円）となり、75億51百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が63億28百万円増加したことによるものです。純資産は、516億54百万円（前連結会計年度末511億1百万円）となり、5億52百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益12億95百万円があった一方、その他有価証券評価差額金の減少5億30百万円および配当金の支払2億23百万円があったことによるものです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億67百万円増加し、216億81百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は33億76百万円（前年同期比11.1%減）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益19億48百万円（前年同期比49.8%増）、仕入債務の増加70億92百万円（同851.9%増）、たな卸資産の減少7億79百万円（前年同期は1億20百万円増加）、減価償却費4億75百万円（前年同期比3.5%増）などがあった一方、売上債権の増加66億57百万円（前年同期は13億13百万円減少）、未収入金の増加5億82百万円（前年同期は7億44百万円減少）などの要因により相殺されたものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は23億64百万円（前年同期比177.1%増）となりました。これは主に連結子会社の取得により1億1百万円の資金を獲得した一方、有形・無形固定資産の取得による支出24億58百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億43百万円（前年同期は4億6百万円の獲得）となりました。これは主に配当金の支払2億23百万円およびリース債務の返済19百万円があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期におきましては、医薬品卸売事業は新製品を中心としたタイムリーな取組みが成果に結びついたことや販売管理費が計画を下回ったことにより、利益は当初の想定よりも上回る見込みとなりました。医療機器卸売事業におきましては、備品受注獲得や画像診断機器をはじめとした大型機器の買い替え需要が順調に推移したことに加え、当期において新規事業会社が加入したことや消費増税前の受注増加が影響し、当初想定した利益を上回る見込みとなりました。薬局事業につきましても、人員適正化による労務コストや販売管理費の削減効果により利益面で大きく改善する見込みとなりました。

よって、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、2019年5月15日に発表しました2020年3月期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

詳細につきましては、2019年11月5日に公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	230,000	1,700	2,700	1,600	67.97
今回発表予想（B）	241,000	1,800	2,800	1,700	72.22
増減額（B－A）	11,000	100	100	100	—
増減率（％）	4.8	5.9	3.7	6.3	—
（ご参考）前期実績 （2019年3月期通期）	235,153	2,458	3,452	2,099	88.96

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,913	21,681
受取手形及び売掛金	47,268	54,284
商品及び製品	15,577	14,800
仕掛品	0	2
その他	6,562	6,196
貸倒引当金	△28	△31
流動資産合計	90,294	96,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,322	6,263
土地	7,329	7,693
建設仮勘定	763	2,523
その他(純額)	542	656
有形固定資産合計	14,958	17,136
無形固定資産		
のれん	2,119	2,032
ソフトウェア	501	487
その他	92	134
無形固定資産合計	2,714	2,653
投資その他の資産		
投資有価証券	15,543	14,747
長期売掛金	361	301
破産更生債権等	0	0
長期貸付金	314	302
繰延税金資産	316	436
退職給付に係る資産	12	45
その他	763	804
貸倒引当金	△214	△192
投資その他の資産合計	17,097	16,445
固定資産合計	34,770	36,235
資産合計	125,064	133,168

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,437	74,041
電子記録債務	276	1,311
1年内返済予定の長期借入金	2	1
未払法人税等	504	1,011
賞与引当金	809	927
役員賞与引当金	128	55
返品調整引当金	53	53
その他	1,345	1,151
流動負債合計	70,557	78,555
固定負債		
長期借入金	22	21
繰延税金負債	1,963	1,544
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	529	548
長期未払金	283	274
資産除去債務	267	269
その他	219	181
固定負債合計	3,405	2,959
負債合計	73,963	81,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	34,123	35,195
自己株式	△607	△607
株主資本合計	46,337	47,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,016	5,486
土地再評価差額金	△1,100	△1,100
退職給付に係る調整累計額	△156	△146
その他の包括利益累計額合計	4,759	4,238
非支配株主持分	4	5
純資産合計	51,101	51,654
負債純資産合計	125,064	133,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	115,232	123,597
売上原価	106,539	114,265
売上総利益	8,693	9,331
販売費及び一般管理費		
荷造費	456	486
給料	3,527	3,608
役員賞与引当金繰入額	58	56
賞与引当金繰入額	770	785
退職給付費用	175	167
法定福利及び厚生費	691	722
賃借料	146	151
その他	2,044	2,051
販売費及び一般管理費合計	7,871	8,028
営業利益	821	1,303
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	137	147
受取事務手数料	221	254
不動産賃貸料	66	70
持分法による投資利益	42	59
貸倒引当金戻入額	25	20
その他	105	114
営業外収益合計	601	668
営業外費用		
支払利息	1	0
不動産賃貸原価	53	45
遊休資産諸費用	13	14
持分法による投資損失	—	0
その他	37	12
営業外費用合計	106	73
経常利益	1,315	1,898
特別利益		
固定資産売却益	—	0
負ののれん発生益	9	179
特別利益合計	9	179

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	1	3
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	125
減損損失	—	0
段階取得に係る差損	18	—
特別損失合計	24	129
税金等調整前四半期純利益	1,300	1,948
法人税、住民税及び事業税	919	973
法人税等調整額	△412	△321
法人税等合計	506	651
四半期純利益	794	1,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	792	1,295

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	794	1,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,113	△530
退職給付に係る調整額	10	9
その他の包括利益合計	2,124	△520
四半期包括利益	2,918	776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,917	774
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,300	1,948
減価償却費	459	475
のれん償却額	87	87
負ののれん発生益	△9	△179
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△35	△21
受取利息及び受取配当金	△139	△149
支払利息	1	0
持分法による投資損益(△は益)	△42	△58
固定資産売却損益(△は益)	4	△0
固定資産除却損	1	3
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	125
減損損失	—	0
段階取得に係る差損益(△は益)	18	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,313	△6,657
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120	779
仕入債務の増減額(△は減少)	745	7,092
未払消費税等の増減額(△は減少)	257	△35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	130	114
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△85	△72
未収入金の増減額(△は増加)	744	△582
預り金の増減額(△は減少)	△55	△99
その他	12	△243
小計	4,567	2,517
利息及び配当金の受取額	139	149
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△908	708
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,796	3,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△687	△2,317
有形固定資産の売却による収入	9	2
無形固定資産の取得による支出	△77	△141
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△18	△19
投資有価証券の売却による収入	—	0
関係会社株式の取得による支出	△10	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	26	101
事業譲受による支出	△109	—
貸付金の回収による収入	13	12
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△853	△2,364

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△0	—
長期借入れによる収入	650	—
長期借入金の返済による支出	△0	△1
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△224	△223
リース債務の返済による支出	△17	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	406	△243
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,349	767
現金及び現金同等物の期首残高	20,693	20,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,043	21,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	79,837	26,362	6,986	1,610	412	22	115,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,546	218	5	4	401	888	6,064
計	84,384	26,581	6,992	1,614	814	910	121,297
セグメント利益	372	324	67	175	21	308	1,269

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,269
セグメント間取引消去	△337
のれんの償却額	△77
たな卸資産の調整額	△33
四半期連結損益計算書の営業利益	821

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	83,617	30,755	7,279	1,642	280	22	123,597
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,709	241	5	87	753	1,221	7,018
計	88,326	30,997	7,285	1,729	1,033	1,244	130,616
セグメント利益	457	561	217	259	126	594	2,217

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,217
セグメント間取引消去	△805
のれんの償却額	△76
たな卸資産の調整額	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	1,303

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

医療機器卸売事業において、2019年4月1日付で株式会社ノバメディカルの株式を取得いたしました。これに伴い、第2四半期連結累計期間において、1億79百万円の負ののれん発生益を計上しております。